

原子力規制委員会記者会見録

- 日時：令和5年6月14日（水）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 5階記者会見室
- 対応：山中委員長

<質疑応答>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから、6月14日の原子力規制委員会定例会見を始めます。

皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。御質問のある方は手を挙げてください。

御質問いかがでしょうか。

エンドウさん。

○記者 共同通信のエンドウです。お疲れさまです。

今日の議題とは関係がないのですが、先ほど規制委員会さんのほうで24日に委員長、1F（福島第一原子力発電所）のALPS（多核種除去設備）処理水の状況の視察に行かれるという発表がありました。こちらについて、まず目的、今なぜこの時期なのかということと、どんなことをされたいのかということについて御説明ください。

○山中委員長 24日の出張の目的でございますけれども、まず第一はALPS処理水の関連施設の状況を視察したいというのが一点目と、使用前検査の状況を確認したいというのが2点目でございます。

もう一つ、1Fの事故調査の関連で、5号機のペDESTALの部分に視察に入るという予定にしております。目的としてはその3点でございます。

○記者 視察では、東電さんとの意見交換も予定されているようですが、ALPS処理水に関してどんなことをやり取りされたいのかなというところで、お願いいたします。

○山中委員長 ALPS処理水関連で言いますと、やはり施設の運用について、これからどういうふうにされていく予定なのかということについて、改めて確認をさせていただきたいということが一点目と、あと、廃炉関係で様々なトラブルが起きたりしておりますので、その点について東京電力の対応というのを今一度確認したいなというふうに思っています。

○記者 東電さんのほうは、一連の関連工事が今月中に終わるような見通しを示しています。そうすると、それが終わると、通水試験だったり、緊急時遮断弁の性能試験だったりとかということに入って、もういよいよ使用前検査も終盤に入ってこようかと思うのですが、こちらについての見通しはいかがなのでしょう。

○山中委員長 最終的な使用前検査というのは御指摘のように、通水試験、総合的な試験

になろうかと思えますし、遮断弁の試験も含まれるかと思えます。これ、使用前検査の希望が東京電力からなされて、我々が対応するというところがございますので、短期的なことについては、東京電力の御希望次第というところかと思っています。

○記者 規制庁さんとしては、分からないというか未定だという。

○山中委員長 時期については未定でございます。

○記者 あと、一方で、IAEA（国際原子力機関）のグロッシー事務局長が来月にも岸田首相の下を訪れて、一連の包括報告書について報告するというような報道も出ています。そういった際に、委員長としてもお会いしたりとかという、今御予定とかというのは、あるのでしょうか。

○山中委員長 IAEAのグロッシー事務局長が規制委員会に訪問されるかどうかについては、連絡を受けておりませんので、これは未定でございます。

○記者 委員長としての御希望とかというのは、何かあったりするのですか。

○山中委員長 もし、そういう予定を入れていただければ、ぜひお目にかかりたいというふうに思っています。

○記者 その際に、どんなことをやり取り、意見交換とかをされたいというような、御希望とかはいかがですか。

○山中委員長 これはIAEAのグロッシー事務局長とは、ぜひ昨年来お目にかかりたいというふうに思っておりましたので、まずはALPS処理水の様々な評価に対して御協力いただいたことに対するお礼と、委員長に就任した御挨拶もまださせていただいておりませんので、その2点かなというふうに思っています。

○記者 分かりました。ありがとうございました。

○司会 ほかに御質問いかがでしょうか。

ヤマダさん。

○記者 北海道新聞のヤマダと申します。

先週の審査会合で、北海道電力泊原発の基準地震動が了承されたという件に関してお伺いできればと思ったのですけれども、北電が申請してから来月で10年ということで、10年近くになってようやく重要な審査項目の一つを初めてクリアしたということで、これに関して委員長の受け止めと、あとここまで時間がかかった背景とか理由というのを、お考えがもしあれば、お考えをお伺いできればと思います。

あと、さらに今後は火山とか津波の審査はまだ引き続き続いていくと思うのですが、規制委員会として、どういったところに関心を持って焦点を持って審査に臨んでいけるかという点も併せてお伺いできればと思います。よろしくお願いします。

○山中委員長 先週6月9日の審査会合で、基準地震動が概ね妥当なものであるというふうに判断されたということは報告を受けておりますし、私自身も確認をしております。これについては、かなり大きな前進であるというふうに考えています。

10年、これまでかかったということについての背景でございますけど、やはり敷地内の断層の活動性の評価、これは当初は火山灰を使って評価をしていたものが、火山灰層の層そのものが見つけることができなくなって、それに非常に時間がかかったというところに原因があるかというふうに思っています。

今後御指摘のように、津波、これについては津波の重ね合わせの審査を進めていく必要もございますし、火山については、これからかと思えます。外部ハザードについては、やはり我々としては慎重に審査をしていかなければならない項目だというふうに思っておりますし、プラント側についても、アクセスルートの問題ですとか、あるいは防潮堤の問題、外部ハザードが関係するような項目もまだ残っておりますので、今後慎重に審査を進めていきたいなというふうに考えています。

○記者 北電、その今後のスケジュールなのですが、その津波と火山と施設の説明を来年1月下旬までに説明を終えたいというスケジュールを示しているのですが、これまでの経緯を踏まえると、あと残った項目の数を考えると、なかなか厳しいのかなという印象も受けるのですが、その辺は山中委員長、北電示したスケジュールどおりに行けるかどうかという、その辺のお考えをもしお伺いできればと。

○山中委員長 審査の期間については、なかなか予断を許さないところでございますし、これはもう慎重に審査を続けていく。特に外部ハザードについては、時間のかかるころもございますので、この点については、期間について、いついつというのは、なかなか私のほうからお答えしにくいところでございます。

○記者 ありがとうございます。

○司会 他に御質問いかがでしょうか。

フクチさん。

○記者 朝日新聞のフクチと申します。

今日の定例会の中身に関してなのですが、議題の3番目で炉安審・燃安審の報告がありましたけれども、委員長のほうから設計の古さの議論についての言及もありまして、これが高経年化、60年超のところでの一つの課題といたしますか、論点にはなっていると思うのですが、炉安審・燃安審での議論というのは、ちょっと踏み込んでいくと、どういった議論を、設計の古さについては期待したいというふうに考えていますでしょうか。

○山中委員長 これは昨年来、安全向上評価届出制度については、改善について、炉安審・燃安審をお願いをしていたところでございます。

それに加えて、高経年化に関する安全規制、特にその設計の古さについて、この届出制度の中で見ていただけることができるのではないかという議論もございましたので、加えて審議をしていただければというふうに思っておりますし、今日も報告の中でございましたけれども、PRA（確率論的リスク評価）を用いたような確率論的なその

評価、あるいはそれを用いてベンチマークのようなテストを行うというような、そういうその議論もございましたので、炉安審・燃安心の改善の議論の中で、いい提案がしていただけるのではないかなというふうに思っています。この点については、先生方には大変な任務を負わせてしまうことになるのですけれども、ぜひいい提案をしていただければというふうに思っています。

○記者 ありがとうございます。

今日の定例会、最後のほうですけれども、石渡委員から線状降水帯といいますか、大雨の部分がありましたけれども、今日一連の流れでは、何かこの規制委員会の対応だとか、そういったことを見直すような話には、最後、ならなかったと思うのですが、一方で線状降水帯、日本各地で起きていて、世間の関心も高いハザードの一つだろうと思ったのですが、そういった部分もこの激甚化していく流れの中で、規制庁、規制委員会として、何かしらの対応というのは今後どういうふうにしていくか、考えはありますでしょうか。

○山中委員長 異常気象に対する原子力発電所、あるいは原子力施設の対応でございますけれども、これはあくまでも、予想がある程度可能な事象でございますので、まずは事業者にとりきり対応していただくというのが、まずはの対応かなというふうに思っております。一方で、規制委員会としてどういう対応を今しているかというのは、長官等にも確認させていただきましてけれども、既にそういう異常気象の予測が出た場合には、きちんとその対応を整えるということが準備されておりますので、特段今、取り立てて事業者に対して、あるいは規制庁、規制委員会で何か対応をしなければならないということは、特段ないかというふうに思っています。

○司会 他に御質問いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

はい、それでは本日の会見は以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—